

## 佐世保高専 JABEE アンケート(専攻科修了生)

### 1 調査の目的

本プログラムの「学習・教育到達目標」の各項目について、本校の技術者教育プログラムを修了した学生（専攻科修了生）が実際にその能力を身につけているか（「学習・教育到達目標」を達成しているか）を自己評価していただき、その結果を本プログラムの教育改善に資する。

### 2 調査対象修了生 123名

平成 27 年 3 月から平成 31 年 3 月専攻科修了生で、住所が把握できる者

### 3 調査方法及び調査時期

- (1) 調査方法 アンケート用紙及び返信用封筒を郵送
- (2) 調査期間 令和 2年4月1日（水）～令和 2年4月30日（木）

### 4 回答数 36件

質問フォーム

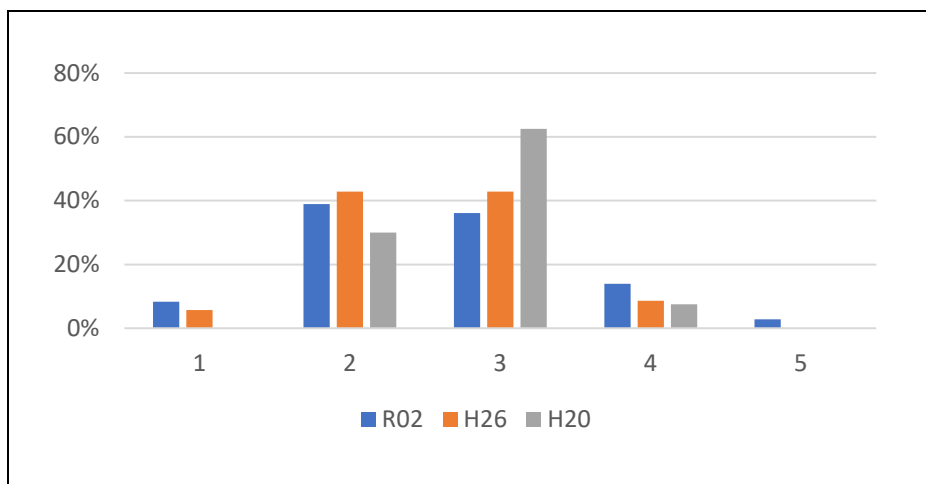
-----  
佐世保高専専攻科修了生自身の能力についてお尋ねいたします。結果は5段階に分けておりますので、どれに該当するかを選択して下さい。目安として点数に直すと次のようになります。(非常に高い：80 点以上、高い：70 点台、普通：60 点台、やや不足：40-59 点、不足：39 点以下)  
各設問に当てはまる項目の枠内を塗りつぶして下さい (□→■)。  
-----

※「前回」は、平成26年度実施分を指す。

## JABEE アンケート（修了生）

### A-1-1

数学(微分積分学、線形代数、微分方程式、確率・統計など)の基礎知識を身につけて、工学的諸問題の解決に応用できる。



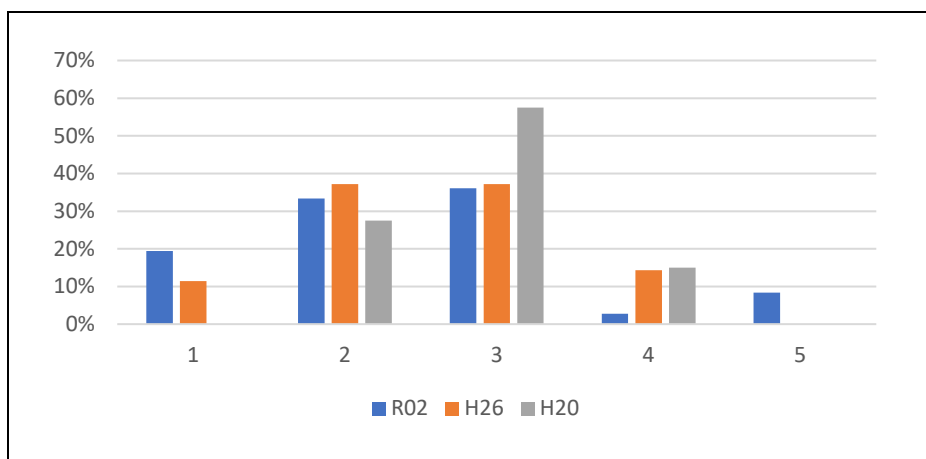
約8割の学生が数学の基礎知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと回答し、また、「1:非常に高い」と「2:高い」の回答が約半数程度であり、教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。

一方で、「4:やや不足」と「5:不足」は前回から僅かな増加傾向がみられることから注視する必要がある。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### A-1-2

自然科学(物理、化学など)の基本知識を身に付けて、工学的諸問題の解決に応用できる。



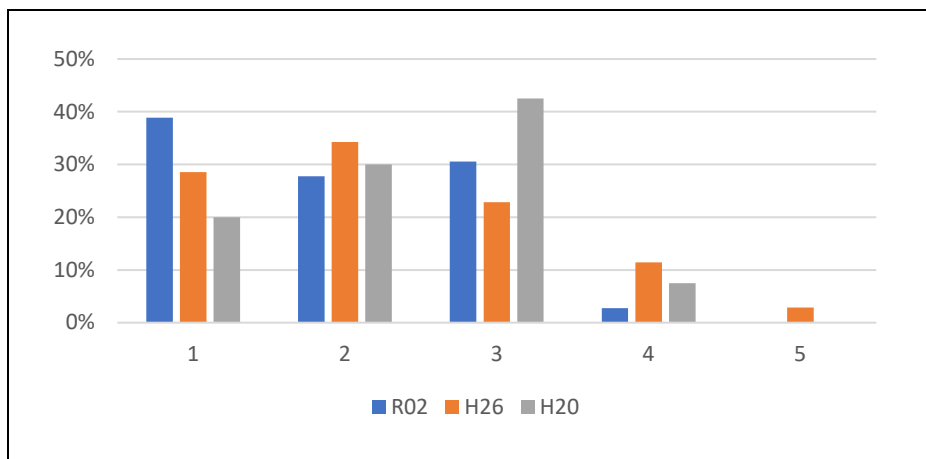
「1:非常に高い」と「2:高い」が前回調査よりさらに増加し、約9割の学生が自然科学の基礎知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと回答していることから教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。

また、「4:やや不足」と「5:不足」は前回から減少しており改善がみられた。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### A-2

情報技術の基本知識を身につけて、情報収集、実験データの解析・評価のツールとしてコンピュータを活用できる。



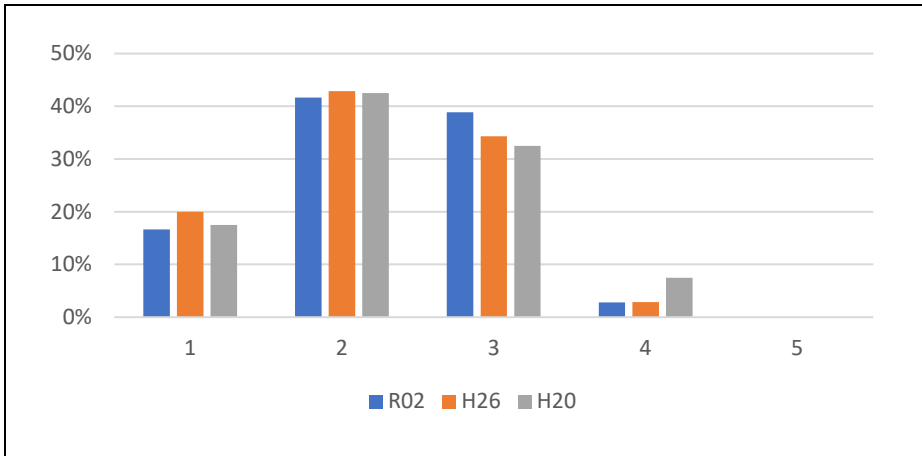
約9割以上の学生がコンピュータを活用できる能力が身についたと回答、また、「非常に高い」、「高い」の割合が高いこと(67%)から、教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。

「4:やや不足」と「5:不足」は前回14%から3%と大幅に減少しており全体的底上げも見られた。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### A-3

基礎工学の知識を身につけて、複合化したもの創りの実務における工学的諸問題の解決に応用できる。

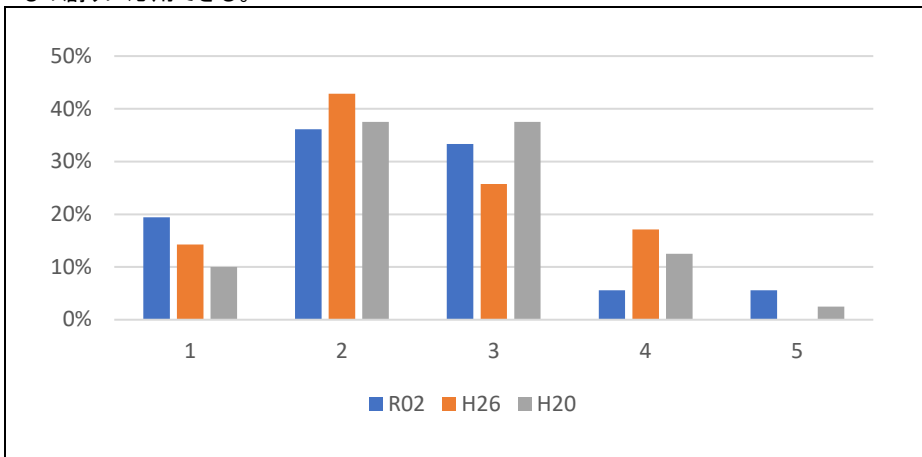


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回から僅かに減少しているが、「3:普通」を含めるとほとんど(98%)の学生が基礎工学の知識を工学的諸問題の解決に応用できる能力が身についたと回答し、教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### A-4

それぞれの専門分野におけるもの創りのための4つの専門科目群(材料・要素・設計・製造・評価・解析、複合系)の知識を身につけて、もの創りに応用できる。

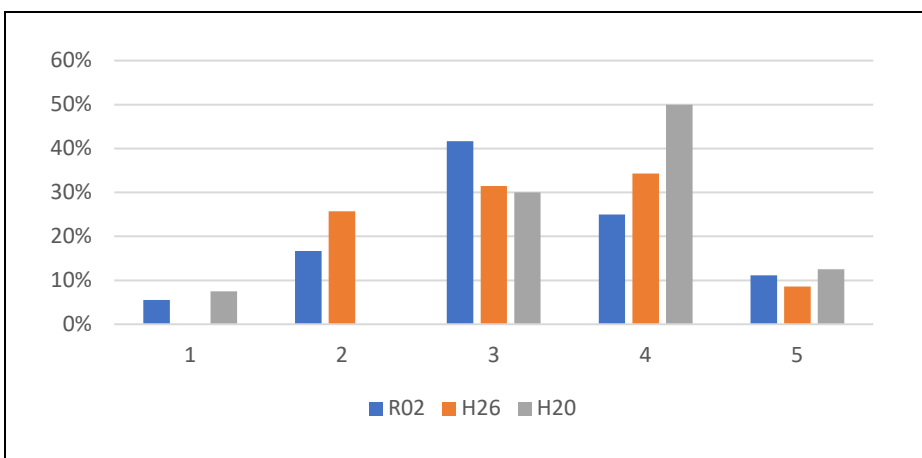


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回より増加しており、約半数以上の学生が4つの専門科目群の知識をもの創りに応用できる能力が身についたと回答しており、教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。また、「4:やや不足」と「5:不足」は前回から減少しており、改善がはかられている。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### B-1

他の国の歴史的・文化的背景や国際問題に関する基礎知識を身につけて、グローバルな視点でものごとを考えることができる。

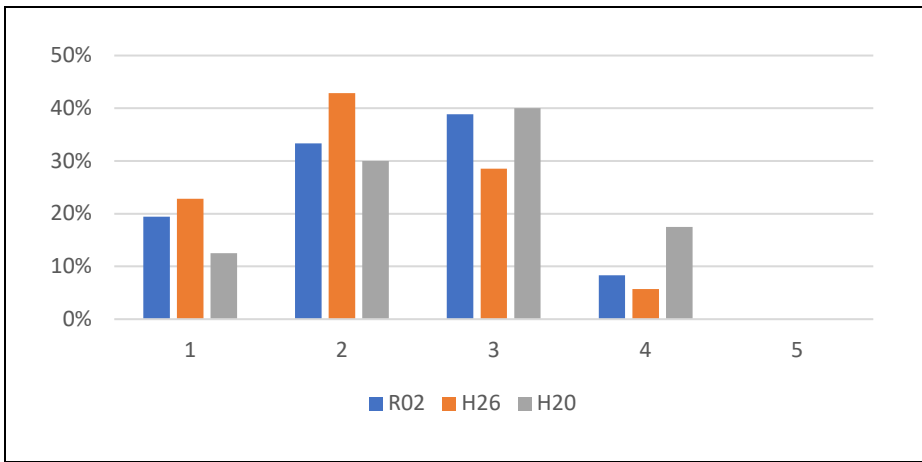


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回から微減している一方で、「3:普通」と答えた学生が増加しており、全体的にはグローバルな視点でものごとを考えることができる能力が身についた学生が増加していると評価する。しかし、「4:やや不足」と「5:不足」の割合が依然多く(36%)、改善の具体策が求められる。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### B-2

技術が自然や社会に与える影響・効果を理解して、技術者としての責任を自覚できる。

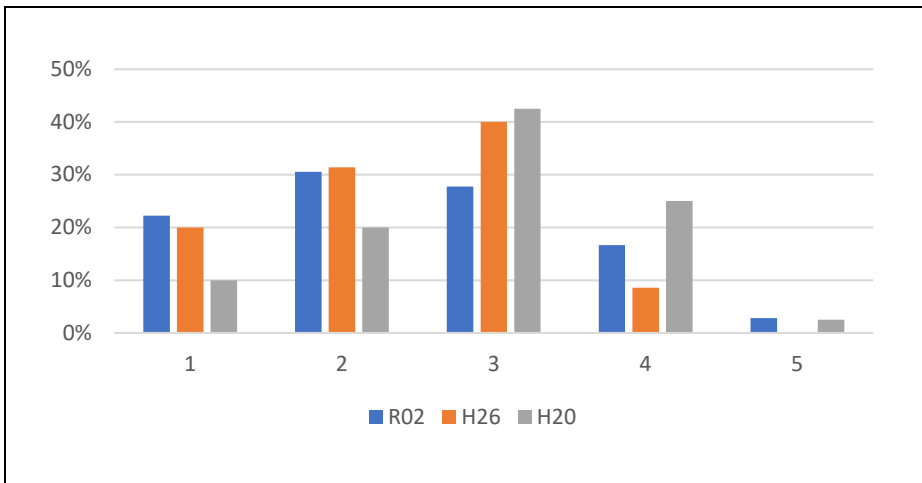


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回から微減しているが、約9割学生が、技術が与える影響を理解し技術者としての責任を自覚できると回答しており、前回から引き続き教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### C-1

技術的な内容を日本語により文章や口頭で論理的に説明できる。

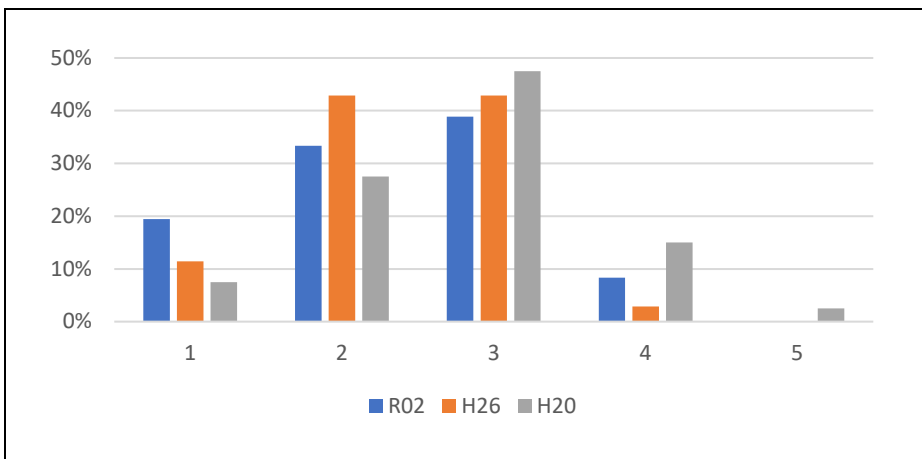


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回から僅かに増加し、約8割以上の学生が日本語による論理的な説明ができる能力が身についたと回答していることから教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。また、約20%の学生が否定的に感じており対策を講じる必要がある(「やや不足」と「不足」の割合は前回から増加)。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### C-2

相手の質問や意見を聞いて日本語で適切に答えることができる。

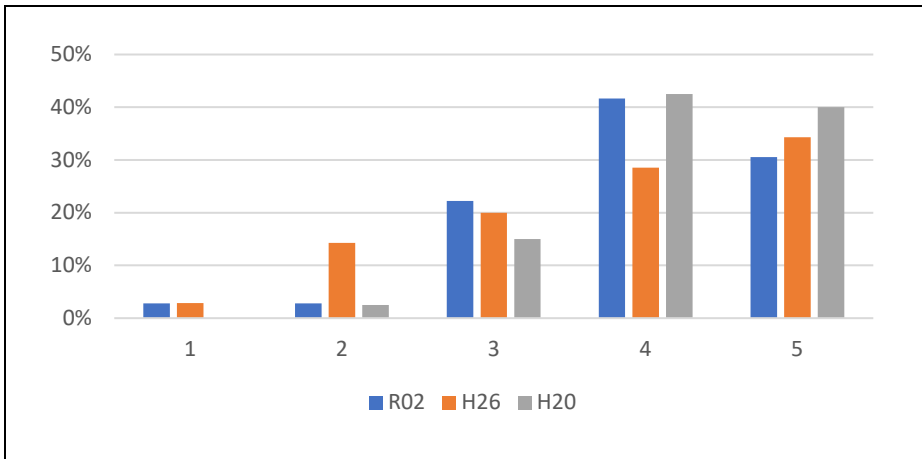


「1:非常に高い」と「2:高い」が前回と同じく高水準を維持しており、約9割以上の学生が、日本語による適切な返答ができる能力が身についたと評価する。一方で、「やや不足」する学生の割合が増加している点に注意する必要がある。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### C-3

英語による基礎的なコミュニケーションができる。

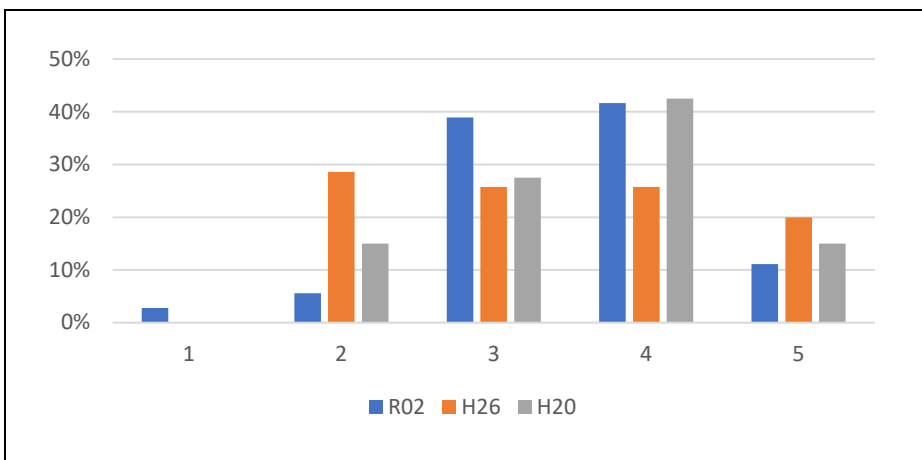


前回調査時より「1:非常に高い」と「2:高い」が前回から減少、「4:やや不足」と「5:不足」が増加している。このことから、英語によるコミュニケーション能力の向上に対する否定感が強く、学校全体で英語教育の取り組みが不十分であると評価する。今後は、具体的な策を講じ改善に努める必要がある。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

#### C-4-1

基礎的な技術英語の文章を読むことができる。

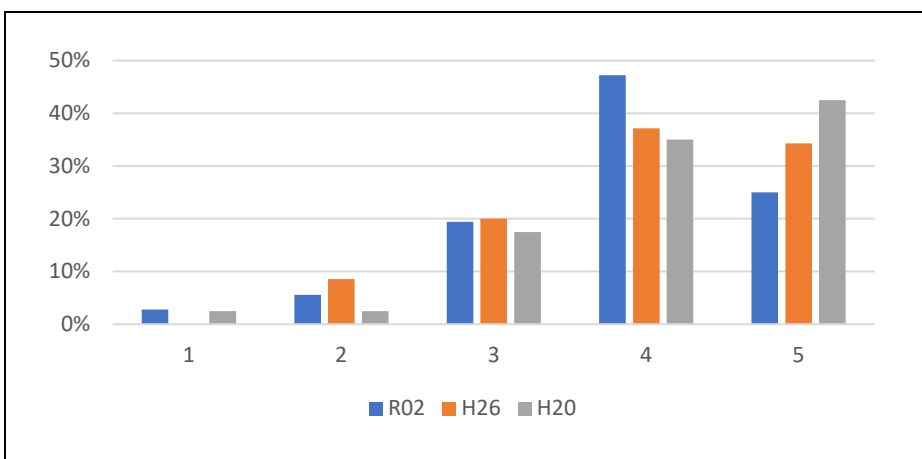


依然として、「3:普通」、「4:やや不足」の割合が高く、基礎的な技術英語の文章を読むことに否定的に感じており、教育目標の到達度は低いと評価する。今後は、具体的なさらなる改善が必要である。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

#### C-4-2

基礎的な技術英語の文章を書く事ができる。

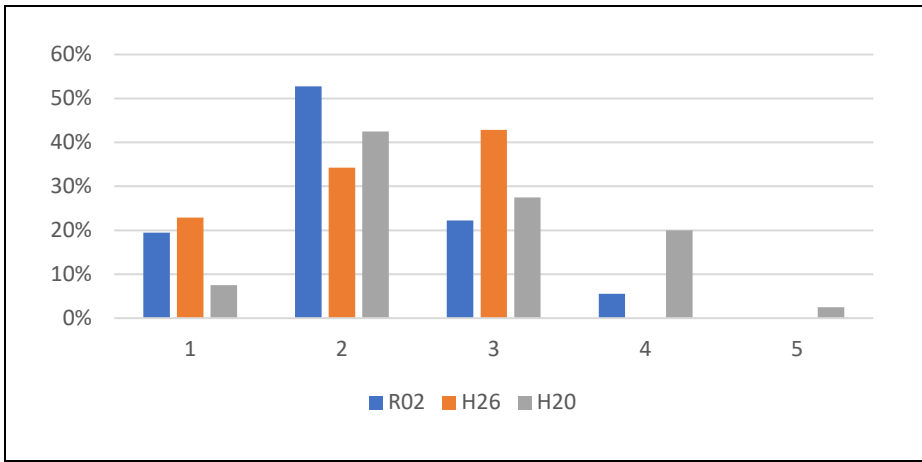


依然として、約7割を超える学生が技術英語の文章を書くことができる能力が不足していると感じており、取り組みが不十分であると評価する。改善を図る具体的な対策が求められる。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

#### D-1-1

自分で具体的な計画や手順を決めて基礎的な実験を実施することができる。

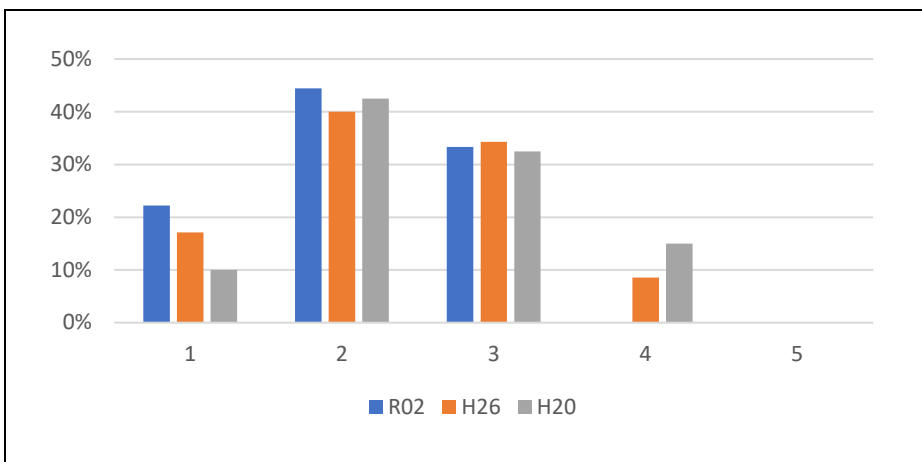


前回調査と同じく約9割以上の学生が自分で計画や手順を決めて実験を実施することができる能力が身についたと評価しており、また、「1:非常に高い」、「2:高い」の回答も多いことから教育目標に沿った高い質の教育が実施されていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

#### D-1-2

得られた結果を正しく評価・解析して考察し、論理的に説明できる。

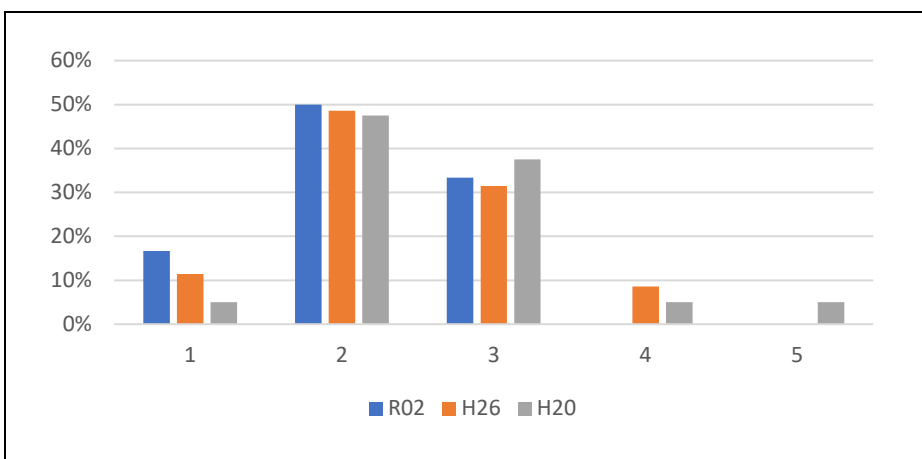


すべての学生が、得られた結果を正しく考察し論理的に説明できる能力を身につけていると評価していること、さらに約6割以上の学生が高く評価していることから、教育目標に沿った高い教育水準を維持していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

#### D-2-1

いくつかの専門分野の知識や利用可能な情報・技術・手段を駆使することができる。

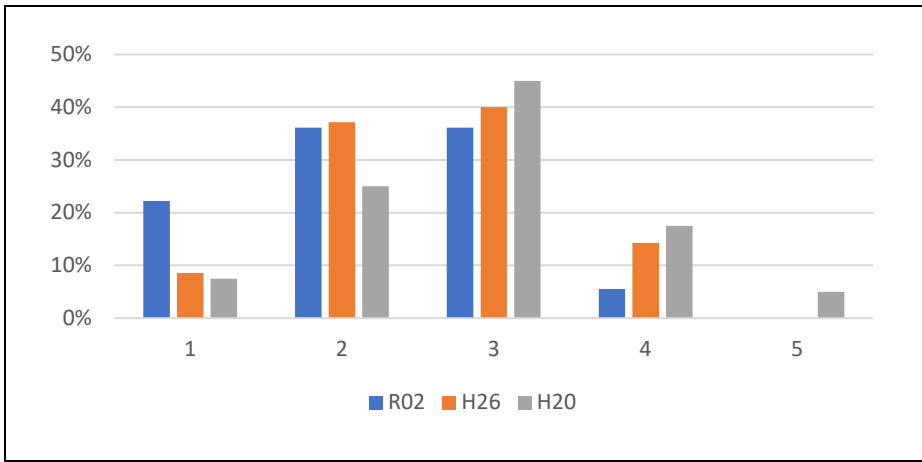


すべての学生が、様々な知識や情報・技術・手段を駆使することができる能力が身についたと回答していること、さらに6割以上の学生が高く回答していることから、教育目標に沿った高い教育水準を維持していると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

#### D-2-2

創造性を発揮して、調査・解析をおこない、解決策を組み立てて実行し、課題を解決できる。

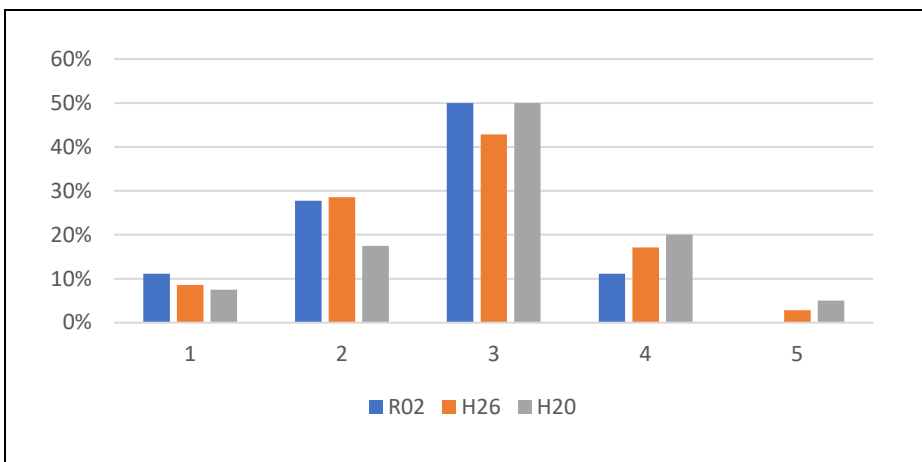


約9割の学生が、創造性や解決策を引き出し、課題を解決できる能力が身についたと評価していることから、教育目標に沿った高い教育が維持されていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### D-3

社会の要求する課題を解決するにあたって、その内容を分析して、計画や方策を複眼的にデザインできる。

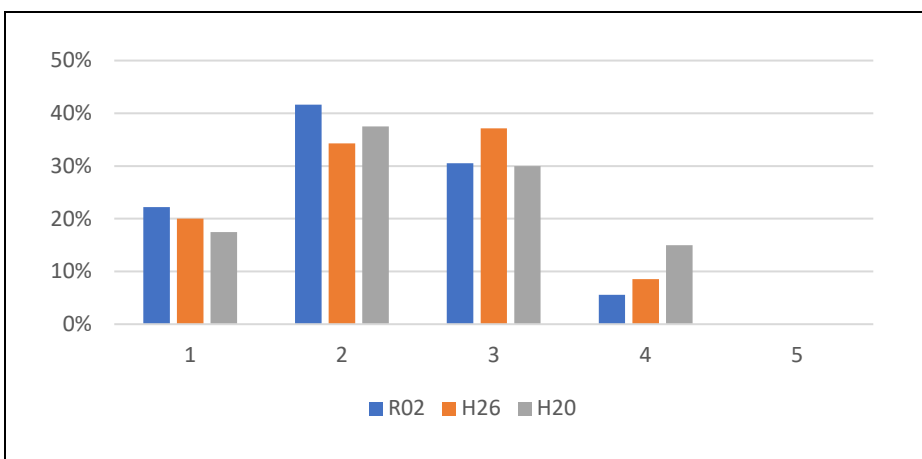


約9割の学生が、社会の要求する課題を解決するための計画や方策を複眼的にデザインできる能力があると回答しており、教育目標に沿った教育が実施されていると評価する。また、「4:やや不足」と「5:不足」が前回の25%から20%へ減少していることから、質の向上も見られていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### D-4

実践的能力を身につけ、技術者が経験する実務上の問題や課題を理解して適切な対応ができる。

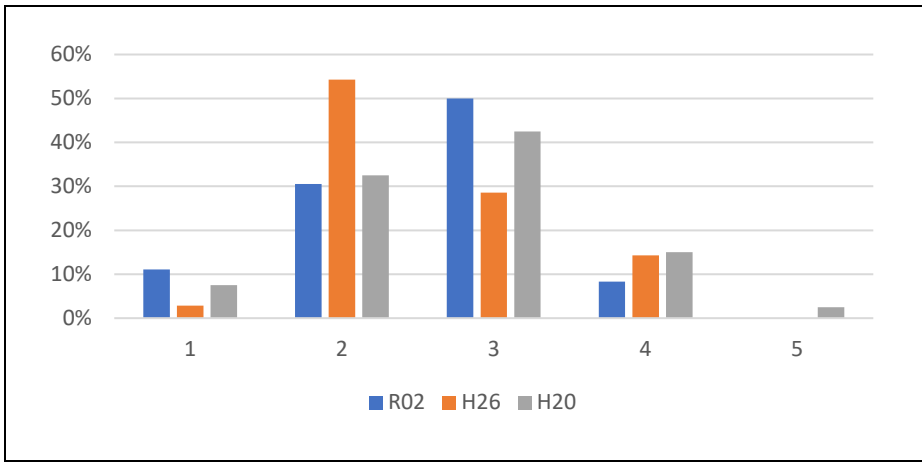


約95%の学生が実践的能力を身につけ実務上の問題や課題に適切な対応ができる能力が身についたと回答しており、教育目標に沿った教育が実施されていると評価する。また、「4:やや不足」と「5:不足」も前回の9%から6%へ減少し、更なる質の向上がなされていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### E-1

社会の要請に迅速に対応し、科学技術の進展を先導するため、自主的・継続的に学習できる。

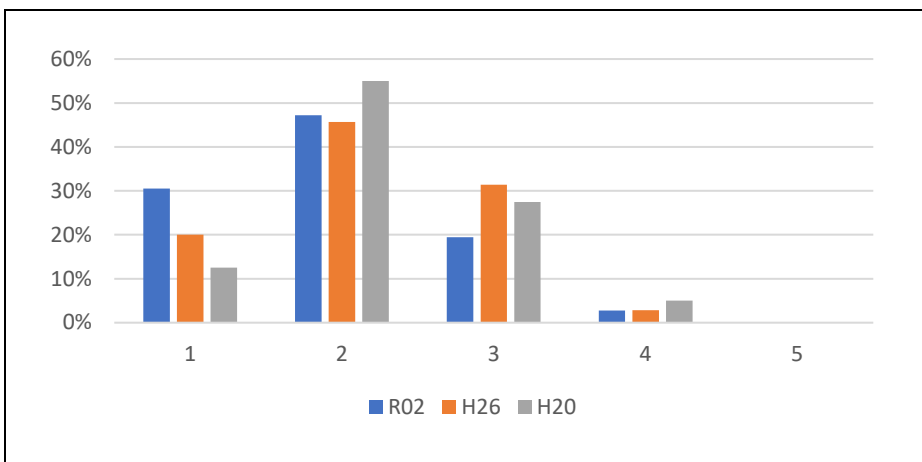


約9割の学生が、社会の要請・科学技術の進展に対応するため自主的・継続的な学習ができる能力が身についたと回答しており、教育目標に沿った教育が適切に実施されている評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### E-2

要求された課題に対して、自立して、あるいは他の人と協力しながら計画的に作業を進め、期限内に終わらせることができる。

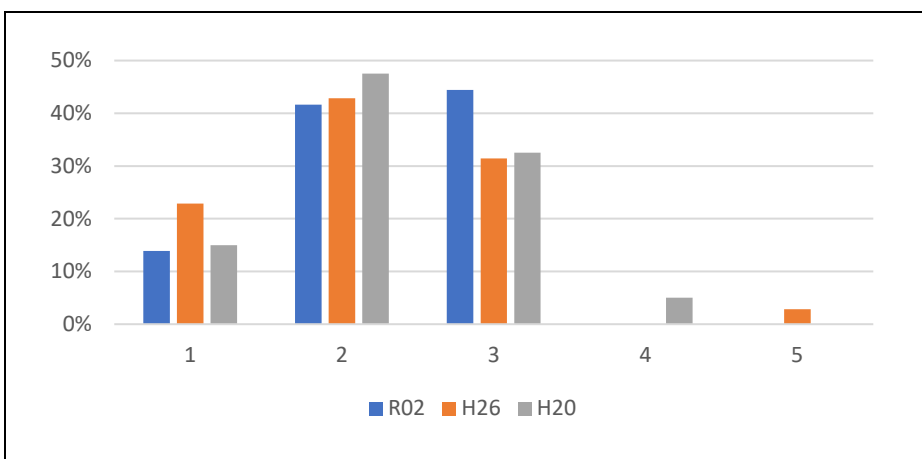


約9割の学生が、要求された課題に対して自立し他の人と協力して期限内に終わらせることができる能力が身についたと回答しており、教育目標に沿った教育が適切に実施されていると評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足

### E-3

健全な心身を持ち、学内外(あるいは社内外)の人々と協調して行動できる。



すべての学生が、健全な心身で学(社)内外の人と協調して行動できる能力が身についたと回答していることから、教育目標に沿った適切な教育が実施されていると評価する。今後は、更なる満足度を上げる改善を図ることも必要だと評価する。

1:非常に高い 2:高い 3:普通 4:やや不足 5:不足